

# 系

議員活動報告 第1号

庄原市議会議員

## 政野ふとし

～未来をつくる・つなぐ～



平成二十五年四月に皆さまにご支援頂き、庄原市議会議員となり、早一年半が過ぎました。一期目の新米議員ではありましたが、本会議での一般質問、また常任委員会や日々の議員活動を通じて、市民の皆さまの声を市政に届けていくことが出来ました。これも一重に、市民の皆さまの声援があったこそです。まずもって心より感謝を申し上げます。

所属：企画建設常任委員会（副委員長）・議会運営委員会・備北地区消防組合議会議員・木質バイオマス利活用プラント整備補助事業調査特別委員会

まさの政野ふとしプロフィール

Table with 2 columns: Category (e.g., 超高速情報通信網整備の事業費) and Amount (e.g., 40億5千万円)

原市にとつては、大きな事業の一つです。しかしながら、活用した施策

が今ひとつ乏しいのが現状です。これまで整備する事に重点が置かれてきましたが、今後はこの高速通信網を利用したサービスの充実が求められます。

国への補助金返還となった庄原市の木質バイオマスプラント整備事業は、失策であったと言

### 議会報告

◇超高速情報通信網について
ひかりファイバー通信網については平成二十七年より、庄原市街地、東城市街地において整備が始まり、すでに利用をされている市民の方も多いと思

◇庄原市第二期長期総合計画について
平成二十八年三月に、平成二十八年度、平成三十七年度までの庄原市の長期総合計画が策定

第2期長期総合計画における将来像
美しく輝く 里山共生都市
～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～
目標人口
現在(平成27年10月) 37,741人
10年後の目標人口 32,700人以上

答弁

学校活性化協議会の設置要項に、所在する市町の教育委員会、構成が定められていて、地域振興の教育企画課長、および所管の企画課長、おおよそ教育総合課の総務課を、所管する地域の振興の視点から、各支所長、委員として参画して、地域の拠点として参画して、身の置ける場所から、経済や活力の低下につな

質問

東城高等学校、西城紫水高等中学校に設置されている「学校活性化協議会」に、本市はどの様に参画しているのか、本市に与えている影響をどの様に考えているのか、再編される事になった場合、本市に与えている影響をどの様に考えているのか、

Table: 市内中学校生徒数. Columns: 市内中学校名, 1年生, 2年生, 3年生, 生徒総数. Rows: 庄原中学校, 西城中学校, 東城中学校, etc.

Table: 市内高校生徒数. Columns: 市内高校名, 1年生, 2年生, 3年生, 生徒総数. Rows: 庄原格致高等学校, 庄原実業高等学校, etc.

補足

広島県は、今後の県立高校の在り方に係る基本計画を策定し、県内十一校の小規模高校に「学校

Table: 庄原市内小学校児童数. Columns: 市内小学校名, 1年生, 2年生, 3年生, 4年生, 5年生, 6年生, 生徒総数. Rows: 庄原小学校, 永末小学校, 高小学校, etc.

### 政務活動費について

兵庫県議会議員の不正受給事件から始まり、毎日の様に全国で議員の政務活動費不正使用の報道がされている状況です。

の削減を招く事になりかねません。中山間地域が持つ多面的かつ公益的機能は、広島県民全体で等しく享受してきました。学校の統廃合を生徒数だけ判断するのは無く、あらゆる視点から検討されるように、引き続き注視してまいります。

平成27年度庄原市議会政務活動費収支報告総括表 (単位:円)

Table: 平成27年度庄原市議会政務活動費収支報告総括表. Columns: 会派・議員, 所属議員数, 交付額, 研究研修費, 調査旅費, 資料作成費, 資料購入費, 広報費, 広聴費, 合計, 会派議員負担分, 残余金返納額.

### ◇学校適正配置について

平成 28 年 5 月に「庄原市学校適正配置検討委員会」が設置され、1 ヶ月に 1 回程度会議が開催されています。少子化に伴う児童数の減少に対して、現在小学校 19 校、中学校 7 校をどの様に適正な配置にしていくかの検討を行っています。

### ◇ゴミ焼却場の新設

平成 34 年度供用開始に向け、現在庄原地域、東城地域にある処理場を一つにする計画が現在進んでいます。総事業費約 50 億円。本市にとっては大変大きな事業の一つです。



わざるおえない状況となりまし  
た。議会としては、その原因は  
どこにあったのかを調査するた  
めに、平成二十六年十月に「木  
質バイオマス活用プラント整  
備補助事業調査特別委員会」を  
設置し、全事業の調査、都度の  
議会の対応、行政責任、議会責  
任について調査を行いました。  
委員会の最大の目的は、再発防  
止にあると私は考えています。

これまでに委員会を二十回開  
催し、一定の結論を導き、平成  
二十七年三月の定例議会におい  
て中間報告を行いました。主な  
報告内容として、議会責任につ  
いては、「執行者提案の補助金事  
業に対する監視と点検作業が不  
十分であったと、議会の議決責  
任を痛感する。」しかし、「本事  
案の最大の欠陥である国への補  
助金返還となった原因について  
は議会責任を問われたい。」とし  
ました。個人の意見としては、  
二元代表制である首長と議会の  
関係性からすると、一方的にそ  
の責任を問うという事はありえ  
ないと考えています。道義的な  
責任は執行者にも議会にもあり  
ます。お互いにその責任を認め  
二度と同じ過ちを繰り返さぬよ  
う再発防止のために互いが研鑽  
する事が重要であると考えてい  
ます。

現在、本事案に関連し、市民  
団体より、現市長に対し「損害  
賠償履行請求事件」とした住民  
訴訟が行われています。調査特  
別委員会としては、その動向に  
注視しつつ、最終的な報告を行  
う事としています。

として活躍される機会が  
増えることを願うとも  
に、郷土への熱い思いを  
胸に活躍する選手に対し  
ては、引き続き市として  
応援していく。  
**補足** この後、東城町出身のプ  
ロ野球選手「谷繁元信」  
氏に、庄原市市民栄誉賞  
が贈られました。最近で  
は、リオオリンピック競  
泳女子平泳ぎ200mで  
金メダルを受賞された「金  
藤理絵」選手にも贈られ  
ました。

平成二十六年九月定例会  
本市の人口減少対策ならびに  
定住対策について

**質問** 旧庄原地域以外の地域  
でこの一〇年、大幅な  
世帯、人口の減少が見  
られる。定住対策効果を  
より向上させるには地域  
特性に応じた定住対策が  
必要だと思いが考えを伺  
う。

**回答** 6つの自治振興区におい  
て、市の補助制度を活用  
し地域特性にあった定住  
促進活動を展開されてい  
る。地域の受入体制、生  
活全般にわたってフォ  
ローできる仕組みづくり  
を構築していく。  
**補足** 現在は田森自治振興区に  
定住支援員（移住定住コ  
ンシェルジュ）の配置が  
され、地域特性を活かし  
た定住促進が行われてい  
ます。

平成二十六年九月定例会  
本市の商工業振興について

**質問** 本市には、平成一七年に  
施行された「庄原市中小



本会議場での一般質問

## 政野ふとしの一般質問

平成 25 年から現在までに、本会議において計 7  
回、市長・教育長に対して一般質問を行いました。  
質問内容については次の通りです。



平成二十五年六月定例会  
超高速通信網整備に関する  
今後の方向性について

**質問** 平成二十五年三月の議会  
において、「新市長に委ね  
るべきである」とされた  
超高速通信網整備につ  
いて、木山市長の考えを伺  
う。

**回答** 市内の都市計画区域及び  
支所周辺区域については、  
市民営方式で平成二十  
八年度までに順次整備を  
行う。知れ以外の区域に  
ついては、携帯電話など  
の通信技術や利用者の状  
況に応じてエリアを拡大  
していく。市民の声はも  
とより、若者定住、企業  
誘致を進める上でも必要  
であると認識をしています。  
庄原市情報通信整備検  
討委員会の報告書にも、  
市内全域にサービス対象  
にする事が望ましいと意  
見がある。それに対して  
はどの様に対応してい  
くのか。

**補足** この後、会派清政会の粘  
り強い会派要望もあり、  
市内全域に超高速情報通  
信網が整備される事にな  
りました。またフェイス  
ブック「庄原いちばんえ  
えね！」も開設運営され  
ています。今後は、加入  
率の向上、通信網のさら

平成二十五年九月定例会  
庄原市の観光振興について

**質問** 市長が提唱している三本  
柱の一つ、「にぎわいと活  
力」について、特に観光  
への深い思い入れがある  
と認識をしている。策定  
中の庄原市観光振興計画  
の基本となる観光振興策  
策についての考えを伺  
う。

**回答** 人口減少が進む中、地域  
経済活性化策として、交  
流人口を増やす観光の取  
組が重要である。自然体  
験、農家民泊、修学旅行  
受入などの取組で、地域  
の拡大を図り、地域経  
済の活性化につなげたい。  
この一般質問においては、  
庄原市の強みをどこに置  
いて振興策を実施するの  
か、また、観光と農林業、  
商工業の連携した観光施  
策の実施提案を行いました。

平成二十五年九月定例会  
庄原市まちづくり  
プランナーモニター事業につ  
いて

**補足** 庄原市では、市民からイ  
ンターネットを利用した、  
市の事業に対する評価や  
提案を受け付けています。  
インターネット環境があ  
る方は是非登録して、市  
に対して提案を行いま  
しょう。市の施策の参考  
となります。

公園、東城中央運動公園  
道後山クロカンパークを  
はじめ、屋内施設をあわ  
せると十七施設ある。い  
ずれも本市が誇るべき施  
設であると認識すべき  
また中国道、尾道松江道  
などのインターチェンジ  
もない環境にある。交流人  
口の拡大、地域づくり有  
効活用する事を目的とし  
た取り組みについて考え  
を伺う。

**補足** 本市の特性を活かしたス  
ポーツイベントには、市  
内外から多くの皆さんに  
参加、観戦を頂いている  
社会的、経済的に大きな  
効果を得ているものと受  
けとめている。イベント  
時だけではなく、年間を  
通じて交流人口の獲得に  
向け、指定管理者による  
独自事業の連携など、新  
体との相互連携など、新  
たな手法、施策について  
調査研究を進めていく。

**質問** 二〇二〇年東京オリ  
ンピック開催に伴い、庄  
原市として何からの招致活  
動を行う予定はないか。  
絶好の機会だとおらえて  
いる。しかし不明な点も  
多く、情報収集に努める  
とともに、日本人選手を  
対象とした合宿誘致の可  
能性を調査研究を進める  
べき。

**回答** 庄原市出身者でスポーツ  
界で活躍する選手に対し  
て、庄原市としてどの様  
に榮譽を讃えるのか、市  
長の考えを伺う。  
庄原市の地で生まれ育つ  
た方が、トップアスリート

を参考にし、多様な教育  
施策をあげてまいりたい  
と考えている。

**補足** 東城保育所、東城小学校、  
東城中学校、東城高校の  
保護者で組織された団体  
で、市長に直接提言でき  
る「庄原いちばんええね  
に申込み、開催された義  
理」に申込み、開催され  
た。そこでの提言した「小中  
学（図書館司書の配置）、  
中学生の英語力の向上（英  
検受験料への補助）、市内  
県立高校の特色ある教育  
振興への支援」が第二期  
庄原いちばん基本計画の  
もと施行されました。

**質問** 子どもたちの健全な育成  
また良好な学校運営を行  
うためには、地域、学校、  
家庭が同じ方向性のもと  
で、熟議を重ね、実現さ  
れると考える。現在のシ  
ステム、学校関係者評価  
委員会、学校評議員制度  
をさらにステップアップ  
させた「コミュニティ  
スクール制度」の導入を  
すべきと思うが考えを伺  
う。

**回答** 地域とともに学校づくり  
を進めるには有効なツ  
ルであると考えられている  
し、しかし現制度で「コミュ  
ニティスクール」の目  
的は果たせている。

平成二十六年十二月定例会  
本市の林業施策について

**質問** 本市の重要課題である「林  
業振興」について、林業  
が持つ多面性を市民の目  
線から検討していく事も、  
林業の活性化のみならず、

本市の活性化につながる  
と思うが、考えを伺う。

**補足** 森林が持つ公益的機能は、  
日頃の生活の中で市民全  
体が享受している何事  
もかえがたい機能だと認  
識している。事業の推進  
については、委員会を設  
置して、各市民団体  
からも委員として参画  
いただいている。市民や関  
係団体、さらには他団体  
との協働による取組が可  
能であると考えている。  
木の駅プロジェクトを一  
つの契機としてとらえ、  
森林活用による本市の活  
性化につなげていきたい。

平成二十七年九月定例会  
本市の定住対策及びそれらに  
関する振興策について

**補足** 本市の人口減少対策と商  
工業振興、農林業振興を  
連携して進める事が、本  
市にとって重要な課題だ  
と認識している。定住施  
策の展開にあたり、どの  
様な連携を図っているの  
か伺う。

**質問** 定住対策は、庄原市の総  
合施策である。各担当課  
との情報共有を行っている。  
相互の連携を図っている。  
移住希望者が相談に来  
るのを待つだけでは無く、  
具体的な「庄原市ではこ  
んな人材を求めています  
（例：うちの街には居  
酒屋が無い。居酒屋を運  
営してくれる人を募集す  
る。すでに他自治体では  
な手法を用いてはどうか。  
庄原ではこんな暮らしが

**補足** この質問は、平成二十六  
年十二月にも同様の質問  
を行いました。私がなぜ  
「学校運営協議会制度」  
の導入に思いを抱いてい  
るかと言うと、私自身、こ  
れまで小学校、中学校で  
地域の住民として学校  
に携わってきた経験から  
です。現代社会において  
子どもたちを取り巻く複  
雑化は学校だけでは難し  
く解決は感じています。  
それは、教職員の方も理  
解をされています。また、  
それぞれ思いのまま

平成二十八年六月定例会  
教育振興施策について

**質問** 学校と地域の連携をより  
効果的なものにするため  
文部科学省が推奨してい  
る「学校運営協議会」（コ  
ミュニティスクール）の  
導入を検討してはどう  
か。

**補足** 各学校では、教育活動の  
情報発信、様々な機会を  
捉え、PTAや自治振興区  
の方とも意見交換を行っ  
ている。市内全ての学校  
に「学校評議員制度」や  
「学校関係者評価委員会」  
もあり、学校運営協議会  
と同様の運営が行われて  
いる。より一層関係者  
との連携を深め、教育を活  
性化していきたい。

この質問は、平成二十六  
年十二月にも同様の質問  
を行いました。私がなぜ  
「学校運営協議会制度」  
の導入に思いを抱いてい  
るかと言うと、私自身、こ  
れまで小学校、中学校で  
地域の住民として学校  
に携わってきた経験から  
です。現代社会において  
子どもたちを取り巻く複  
雑化は学校だけでは難し  
く解決は感じています。  
それは、教職員の方も理  
解をされています。また、  
それぞれ思いのまま